

物理学委員会 物理教育研究分科会（第25期・第2回）

議事要旨

日時 令和3年4月30日（金）10：00～12：00

会場 オンライン（zoom）会議

出席者： 板倉委員、市川委員、岡委員（委員長）、駒宮委員、笹尾委員（副委員長）、新永委員、関口委員、千葉委員（幹事）、中山委員、松尾委員、横山委員、覧具委員、笠委員（幹事）、和田委員、渡部委員

欠席者： なし

資料： 資料1 物理教育研究分科会（様式）活動報告
資料2 物理学会総合講演（笹尾委員）
資料3 「物理教育研究」への期待（覧具・笠委員）
資料4 和田委員報告 インターネットを使った授業
資料5 横山委員報告 物理教育における男女格差の現状と課題
資料6 横山委員他 Public Understanding of Science 掲載論文

議 題

（1） 前回議事録確認

岡委員長より、令和3年1月27日開催の第1回物理教育研究分科会議事録（案）を諮り、これを了承した。

（2） 報告事項

2.1 特任連携会員承認

- ・覧具博義氏の特任連携会員任命および本分科会所属が承認された。

2.2 分科会活動報告（報告資料1）

- ・岡委員長より、資料1の当分科会活動報告に関して報告された。

2.3 日本物理学会年次大会総合講演（報告資料2）

・笹尾委員から、3月の日本物理学会年次大会（オンライン）で、前期に発出した提言について総合講演を行ったことが報告された。約100名の参加者があり、多様な質問と議論があったことが報告された。講演はビデオ録画で公開されるとの報告もされた。

2.4 「大学の物理教育」への寄稿（報告資料3）

- ・覧具委員と笠委員により、両委員の著者名で「物理教育研究への期待」というタイトルで「大学の物理教育」へ記事を寄稿したことが報告された。

2.5 東北大学大学教育支援センターからの「物理学におけるDBER推進のための Web サイトに関するニーズ調査」

- ・笹尾委員より、東北大学大学教育支援センター（長）大森不二雄先生との議論と、DBERウェブサイト作成に際して当該センターのインタビュー調査の対象候補の推薦の依頼があり推薦したとの報告がされた。

(3) 物理教育における男女格差の現状と課題（資料5・6）

- ・横山委員より、資料5、資料6に基づいて物理教育における男女格差の現状と課題について説明が行われた。

- ・横山委員の説明後、多様多数の質問と議論、特に日本における知的な女性観と数物への男性イメージについて、年代依存性がないこと等についての意見交換が行われた。

(4) オンラインによる物理教育の現状と課題（資料4）

- ・和田委員より、資料4に基づいてインターネットを使った授業、特に同志社大学におけるオンライン講義実施の現状と課題について説明が行われた。

- ・和田委員の説明後、幾つかの質問のもとに意見交換が行われた。

(5) 分科会の今後の活動について

- ・岡委員長から、今後の活動について、(1) 前期の提言の具体化（提言内容実現のための調査研究、分野横断的な取り組みの可能性などを含む）、(2) ジェンダー問題、(3) オンライン授業と効果的な物理教育、を取り組みたいとの提案があり、質疑が行われた。

- ・岡委員長から、次回の会合で(1)に関して大森不二雄先生（東北大）、(2)に関して野尻美保子先生（高エネルギー研）、(3)に関して植松晴子先生（東京学芸大）あるいは大野義章先生（新潟大）に本分科会にて講演を依頼したいとの提案があり、承認された。

(6) その他

- ・議事録は委員間で回覧後、委員長に承認を一任することが承認された。
- ・次回の日程は、7月頃にオンライン会議による開催とすることを確認した。

以上